

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新年のご挨拶

組合員の皆様及び利用者の皆様、明けましておめでとうございます。

おかげさまで沖縄協同病院は移転7年目を迎えることになりました。

昨年を振り返りますと、私たち医療福祉生協の運動とも連動している「辺野古新基地建設阻止」という戦いに多くの組合員や職員が参加しました。私たちの先頭に立って頑張っている翁長知事を支え、来る宜野湾市長選挙でも民意を示し、平和運動もさらに大きく前進させていきたいものです。

今年の院内の大きな取り組みとしましては、まず3月にJCEP(卒後臨床研修評価機構)の認定更新受審があります。これは当院が初期臨床研修病院として研修医に対して適切な指導を行っているかを第三者機関であるJCEPの立ち入り調査を受け認定されておりました。今回は、その更新の為の受審となります。

引き続き5月には日本医療機能評価機構による医療の質や安心・安全な病院かを第三者機関が立ち入り調査する「病院機能評価」の5年ぶりの認定(更新)受審があり、昨年より職員一同、認定更新に向け委員会を立ち上げて全力で取り組んでおります。

そして3月には患者様の医療負担増や病院経営とも密接に関わりがある2年に一度の「診療報酬改定」があり、厳しい改定が予想される中その対策にも取り組んでいきます。

国の医療の機能分化推進が進む中、沖縄協同病院でも慢性疾患管理は課題となっており、地域の医療機関の皆様方とも紹介等の連携をしながら、沖縄医療生協のセンター病院として且つ急性期病院としての役割を果たし、「より良い、安心・安全な医療」を提供出来るよう努力していきます。

本年も組合員の皆様と職員一同力を合わせて厳しい社会情勢や医療情勢を乗り切って行きたいと思いますので何卒よろしくお願いいたします。



沖縄協同病院
院長 仲程正哲

新春のつどい

～お近くの会場に是非ご参加下さい～



	日 時	ブロック・支部	場 所	会 費
1月	16日(土)12:30～	真和志3支部	JA真和志	未定
	17日(日)11:30～	与勝支部	内間公民館	300円
	24日(日)12:00～	南部ブロック	糸満改善センター	1,000円
	24日(日)12:00～	那覇南支部	レストランエンジェル	500円
	29日(金)18:00～	沖縄がんじゅう支部	中部協同病院講堂	1,000円
	31日(日)12:00～	小禄3支部	小禄JAホール	1,000円
	31日(日)12:30～	豊見城ブロック	JAとみえーる	未定
	31日(日)13:00～	首里東・西支部	JA首里城下町	1,000円
	31日(日)17:00～	具志川北・南支部	うるみん3階ホール	1,000円
2月	7日(日)時間調整中	浦添支部合同	みやぎ公民館	未定
	12日(金)18:00～	沖縄がじゅまる支部	中部協同病院講堂	500円
	21日(日)19:00～	読谷支部	比謝公民館	1,000円
	28日(日)時間調整中	西原支部	新春のつどい・春ピクニック	未定

※時間・参加費などの詳しいお問い合わせにつきましては、沖縄医療生協・組織部(098-850-9004)、または「生協だより新春号」にてご確認ください。

『第31回那覇マラソン』救護班に参加して

今回、初めて那覇マラソンの救護班に参加させて頂きました。前日に、参加者同士の顔合わせや勉強会を開催してくださり不安なく救護に臨むことができました。ランナーが一生懸命走っている中、沿道で応援をしながらサロメチール等を使用



し応急処置を行いました。中には、救護所でテーピング、点滴を行う人もいましたが、先輩看護師、先生方のおかげで無事終了することができました。今回、貴重な体験ができてとても良かったです。

看護師 山内悠太

病院の活動状況 <11月度>

- ・外来一日平均患者数：606人 (前年同月比+17人)
- ・入院一日平均患者数：270人 (前年同月比+20人)
- ・組合員利用率：57.89%(前年同月比+0.99%)

入院助産制度について

113 地域連携課



地域連携課
佐久本 ちあき

【申請窓口】
各市在住の方は、各市役所の担当窓口へ問い合わせ。
各町村在住の方は、各町村を管轄している福祉保健所へ問い合わせ。
【申請時期】
出産予定日の2ヶ月前までに申請が必要となる。

出産費用について悩まれている場合は、市町村の担当窓口または地域担当保健師へ「入院助産制度」が利用できるのかなどの詳細をお問い合わせください。

【対応施設】

沖縄県内では左記に挙げた11か所の病院にて利用することができます。
①沖縄県立北部病院 ②沖縄県立中部病院 ③浦添総合病院 ④沖縄県立南部医療センター・こども医療センター ⑤沖縄赤十字病院 ⑥那覇市立病院 ⑦沖縄協同病院 ⑧南部徳洲会病院 ⑨公立久米島病院 ⑩沖縄県立宮古病院 ⑪沖縄県立八重山病院

※右記の(1)(2)の条件を満たし、審査の結果、助産をするにふさわしいと認められた方

① 非課税世帯(世帯全員が非課税)
ただし、課税世帯であっても風水被害による災害、不慮の事故などにより経済的に困窮している方

② 保健上必要のある方(異常分娩のおそれがある等)

③ 出産にかかると見込まれる費用を公費で負担する制度です。(児童福祉法第22条)

「入院助産」とは保健上必要があるにもかかわらず、経済的に困窮しており、病院等施設における出産費用を負担できない方について、本人から申請があった場合に出産にかかる費用を公費で負担する制度です。

【対象者】
(1) 保健上必要のある方(異常分娩のおそれがある等)

(2) 非課税世帯(世帯全員が非課税)
ただし、課税世帯であっても風水被害による災害、不慮の事故などにより経済的に困窮している方

※右記の(1)(2)の条件を満たし、審査の結果、助産をするにふさわしいと認められた方

「火の用心～総合消防訓練～」



去る11月25日に、総合消防訓練が行われました。多くの人が出入し、また入院病棟を有する病院（特定用途防火対象物）では、年に2回以上の消防訓練を実施することが義務付けられています。

今回は、3階講堂前で夜間に火が発生したことを想定し、看護師から事務員、警備員まで30名余りの職員が参加し、通報・消火・避難誘導・救護班に分かれて訓練を実施しました。前日の打ち合わせのおかげで、各班員とも大声で誘導・担送など迅速に行うことができ、全体では通報より10分程度で避難完了しました。訓練後は、消火器を使用して消火活動の実践も行いました。

日々の医療活動で多忙な職場環境ですが、防災に関する意識向上が達成出来たのではないかと感じます。平日に行われた訓練でしたので、外来・入院されていた患者さんには大変ご迷惑をおかけしました。

総務課 平川俊太



投書

整形外科の看護師さんをお願いします。受診するたびに感じるのですが、先生が患者さんを選んで1回、2回、3回呼んでもいないときがあります。その時初めて看護師さんが出てきて探し回る。そしたら呼んでも聞こえない所で待っています。それを2～3時間も待っている患者さん達はワジワジしてなりません。先生が呼ぶ前に看護師さんが各5名づつ呼んで診療室の前に座って待つようにしたら1分1秒でも早くなるのではと思います。

整形外科の患者さんは、痛みやしびれがあつて2～3時間も座っているのは大変です。どうか患者さんの気持ちになって考えてくださるよう、よろしくお願い致します。

回答

配慮に欠けたことをお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。

整形外科の職員は比較的、患者様へのラウンドをしながら声かけを行っているのですが、不十分だったのかもしれません。

今回、このようなことを少しでも防ぐため、TVモニターを設置し、待ち番号表示を開始いたしました。改善策につながれば良いと思っています。

ただ、整形外科受診の患者様はかなり多く、待ち時間に関しては今後とも改善努力をしていくつもりであります。

外来師長 中村光江

画・内科医 上原和博



栄養管理室だより ⑬

シークワース

七草がゆ

ヤマトソグワチが過ぎお腹まわりの脂肪が気になると思います。ウチナーソグワチもすべにやってきます。

ソグワチクワッチーは肉や天ぷら等油を使う料理が多くカロリーも高くなります。

最近、沖縄県では心筋梗塞、脳出血による死亡率が男女共に全国平均を上回り、特に40代、50代の働き盛りの男性は脳出血による死亡率が全国ワースト5に入っています。これが平均寿命を縮める原因のひとつになっていると考えられます。

長寿県を復活させるには働き盛り世代の生活習慣病による死亡率を低下させる必要があります。

年末年始で乱れた食生活を七草粥でリセットしてみたいかがでしょうか？

七草がゆとは？

七草粥（ななくさがゆ）は1月7日の節句の朝に食べられている行事食です。沖縄ではナンカヌスク（七日の節句）が内地の七草の行事に当たり、一年の無病息災を願って食べられます。

また年末～正月にかけて連日ご馳走を食べ、疲れた胃を休める為に食す、とも言われています。

七草粥は七草すべてが使用されるわけではなく、また地方によっても食材が異なる場合があります。

東北地方では、ゴボウや人参などの根菜を入れた雑炊にしたり、九州では鶏肉を入れたりもします。

最近ではスーパーで挿絵のような七草セットなども手に入るようになりましたが、沖縄にも体に良いとされる野菜や薬草が色々あります。

ちなみに沖縄風の七草（野菜）は

- ① シマナー（高菜）
- ② ソスナバー（フタソウ）
- ③ デークニバー（大根の葉）
- ④ ビワ（ねぎ）
- ⑤ フーチバー（よもぎ）
- ⑥ ハンダマ（水前寺菜）
- ⑦ サクナ（長命草）などです。



七草がゆ

<材料(1人分)>

- 1人分…275kcal/塩分0.5g
- ・胚芽米…68g
- ・大麦(押麦)…10g
- ・水…390g
- ・七草…60g
- ・塩…0.5g

<作り方>

1. 胚芽米を研ぎ、土鍋に水と大麦(押麦)とともに入れ、加熱し、沸騰したら弱火で30分程度炊く。
2. 吹きこぼれそうになったら、蓋をずらして蒸気を逃す。
3. 七草(7種類でなくてもよい)を細かく刻む。
4. お粥が炊き上がる少し前に、3(七草)と塩を加える。
5. 出来上がった全体を混ぜ合わせる。